

## UCEENET School of Industry シンポジウムに参加して

有機・高分子物質専攻

菅井 直人

エントリーシート の書き方や、面接の対応といったテクニックの話ではなく、どのような会社が私たちに合っているといえるのか、そしてそのような会社をどうやって見つければよいかといったような、就活に対する心構えや考え方をお話して頂きました。暑い日の午後、冷房の利いた部屋での講演会という眠くなる条件が揃っていたにも関わらず、居眠りをしている学生はほとんど見られませんでした。それだけ今回の講演の内容が興味深いものでしたし、就活への意識の高い学生が集まっていたように感じました。

どの講師の方も企業の第一線で活躍されているだけあり、経験に基づく非常に説得力のあるお話をして下さいました。私の中で特に心に残ったのは、「自分にとっていい会社はインターネットの上の情報だけでは見抜くことはできない。実際に工場見学や面接に行き、会社の人と話をしてみれば当たり前ですが、実際に就活が始まってから内定優先の就活をしたりインターネット上での情報に振り回されたりしないために、こういった基本的なことを再確認する意味でも就活準備期間の今、こういった話を伺うことをできたのは大変有意義であったと思います。

講演会後には懇親会 の場が用意され、講師の方々とビールを交えて社会人生活の話、研究の話、プライベートの話など、肩の力を抜いて話をすることができました。私は博士課程に進学予定なので、特に企業における博士号取得者についてお話を伺いました。博士号取得者への期待をお話して頂いた一方で、「産業界は過剰となった博士人材を押しつけられている感はある」、「博士への期待が大きかった分失望も大きかった」など率直なご意見もお話頂き、身の引き締まる思いがしました。しかし、博士課程学生の参加率の高い UCEENET 主催であるにも関わらず、講演会においては博士課程学生に向けた話はかなり少なく、その点については物足りないものがありました。

また、懇親会では UCEENET の今後についても熱い話し合いが行われました。企業と学生だけでなく、学生と学生を繋ぐ UCEENET の輪が少しでも大きくできるようにささやかながら貢献していければと思います。また、UCEENET を通じ、学生同士の繋がりも深めていければとも思っています。

最後になりましたが、大変興味深いお話をして下さった講師の方々、このシンポジウムを企画・運営して下さいました先生方、そして事務の方々に深くお礼申し上げます。有難うございました。